

2019年度（公社）鳥取青年会議所 総務渉外委員会 所信書

委員長 黒坂 悟史

我々は、経験年数の浅いメンバーが増え、運動ビジョンに対する理解が浅く、一つの目標に向かって全員で進んでいくことができていませんでしたが、中国地区で2番目に多い会員数が一つになることで、より大きな運動を展開できます。メンバーの方向性を一つにするには、ビジョンやミッション、ルールが産まれた背景や目的をしっかりと理解し、時代や環境に適応させ、運動と活動を正しく行い続けられる運営基盤を築くことが必要です。

まずは、組織全体を正しく運営していくために、各種会議体を確実に運営することを通じて、メンバーがその仕事のもつ意味や重要性をしっかりと理解することで、より良い組織運営につなげます。そして、鳥取J Cの運動ビジョンを対内外に発信し、OB、外部協力者と現役メンバーをつなぐために新年祝賀会を開催することで、事業の構築段階から外部の意見を仰ぎ、対内外のニーズに応え、諸先輩方の想いと本年度の想いをつなげます。さらに、次代の鳥取J Cを担う人材を育成するために、多くの機会を創出し、役割と責任を与え、各自が目標を達成できるような運営をすることで、未知の可能性を切り開く能動的な市民になります。また、会のルールを時代に即したものにするために、法人格に関する諸規定の検証と改定を行うことで、鳥取J Cが明るい豊かなまちづくりのできる安定した信頼ある組織になります。そして、副委員長の議案や予算、コンプライアンスに対する知識と理解の向上のために、財政規則審査連絡会議を運営することで、副委員長に正しいルールとその目的をしっかりと理解していただき、さらなる運営基盤の強化につなげます。

組織全体が、安定した信頼ある運営基盤に基づき、我々は何を目指して運動、活動しているのかを正しく理解、発信し、それを時代や環境に適応させながら、自ら能動的に未知なる可能性に挑戦できる、根心あるメンバーとともに明るい豊かな因幡地域を創造します。

<委員会テーマ>

1. 新年祝賀会（式典・懇親会）の設営